

	重点努力事項	成果 及び 課題等	自己評価	本年度の改善策等
確かな学力の育成	(1) 基礎的・基本的事項の確実な定着	<ul style="list-style-type: none"> ○落ち着いた学習態度、学習意欲をもって取り組む姿が多く見られる。 ○楽しく、わかる授業をめざした指導の工夫・改善により、学習意欲が高まり、よく聞き、考える態度が多く見られるようになった。 ○チャイムとともに始まり終わる授業実践が、チャイム前に動く等子どもたちの姿として定着しつつある。職員の意識が高まってきた。 ●学習訓練等の徹底を図り、家庭学習との連動により更に効果的な取組を推進し、学力向上につなげる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 3.0 ② 3.0 	2.9 <ul style="list-style-type: none"> ・1時間の授業の充実、楽しくわかる授業をめざした指導法の工夫改善 ・チャイムで始まり、終わる授業実践 ・学習意欲の喚起と学習規律の定着 ・学習の約束の教室掲示、活用推進 ・指導と評価の年間指導計画の活用
	(2) 確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○言語活動及び表現活動の充実により、表現力の向上が見られる。 ○研究授業等の実施を契機に導入・展開の工夫等授業の改善が進み、児童の関心意欲が高まり、学力の伸びにつながりつつある。 ○評価問題の活用等により、学力向上の取組を推進できた。 ●徹底指導と能動型学習による展開の工夫・改善が更に必要である。 ●授業の中で適切に評価し、個に応じた指導の徹底を更に進めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 2.9 ② 2.9 	
	(3) 読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○掲示や配置の工夫等環境整備により、図書室来室者が増加した。 ●学年に応じた読書内容の質を高めたい。読書習慣の形成及び定着を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 2.8 ② 3.1 	
	(4) 校内研修の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○全員研究授業の実施により、授業の工夫・改善が推進できた。 ●ポイントを絞った検討により、研究を深め授業力向上につなぎたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 2.9 ② 3.0 	
学校関係者評価	講 評		評定	今後の改善方策
	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本型授業の推進を評価する。小規模校であるため、一人一人きめ細かい指導の実現をより一層お願いしたい。楽しく、わかる授業のために、ぜひ「聞く力」を高める指導も検討してほしい。このことは、大人になったとき、とても大切なことだと思うから。 ・個々の違いはあると思うが、積極的に発表したり、先生の授業に向き合っている。 ・壁面に掲げてある書や絵画等も上手いと思う。 ・中学生と合同の発表会、中学校の先生による乗り入れ授業の指導は、子どもたちにとって勉強になる（勉強する機会になる）と思われる。 		3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・「よく聞き、考え、伝え合う」学び方の育成を更に進め、意見交換をし、学び合う活動を生かし、学力の向上を図る。 ・学力検査等の結果の分析を進め、実態や課題を把握、課題解決に向けた指導法の工夫・改善を図る。

- ・授業参観等で訪問した際、先生と子どもたちが一体となった授業は素晴らしいと思う。先生方もいろいろ工夫されているのを感じる。
- ・図書室の本のレイアウト（整理）は良くわかりやすいと思う。
- ・確かな学力の育成に対する評価が3というのは素晴らしいと思う。先生方のご指導のたまものだと思う。義務教育期間の基礎的な学力がついていると、今後の子どもの自信につながっていくと思う。
- ・子どもたち一人一人に適切な指導がなされ、一人一人を把握されているのがわかり、授業態度の立派さに感心させられた。
- ・何度か授業を参観したが、先生方の熱心な指導ぶりが見られた。児童のやる気を起こすようにと工夫されているようだ。

- ・中学校と連携を図りながら、校内研修の充実を進める。学習訓練、家庭学習の取組等について検討し、児童の主体的な学び、更に学習内容の確実な定着を図っていく。更に思考力・判断力・表現力の育成を図る。

自己評価欄 ①：1学期、②：2学期の評価、 評価・評定は、4段階評定（4：良好 3：概ね良好 2：やや改善が必要 1：改善が必要）